

# こどもとしょかんだより

(令和4年)  
3・4年生 加須市立図書館 2022年12月 (だい33ごう)

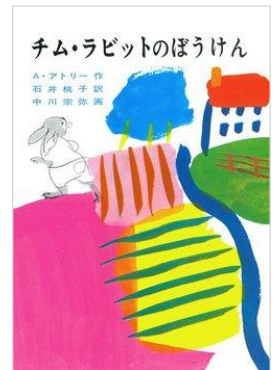


## 「かちかちやま」

おざわ としお / 再話  
あかば すえきち / 画 福音館書店

じいさまとばあさまに  
いじわるをしたためき  
に、うさぎがしかえし  
をします。

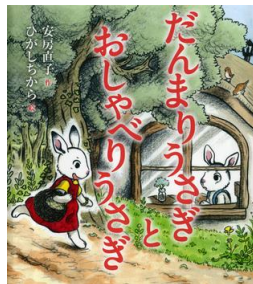
うさぎのチムは、く  
さかり場で、ハサミ  
をみつけます。いろ  
いろなものを切っ  
ていくうちに自分  
の毛も…。



## 「チム・ラビットのぼうけん」

アリソン・アトリー / 作 石井 桃子 / 訳  
中川 宗弥 / 画 童心社

ひとりぼっちでくら  
していただんまりう  
さぎに、ともだちがで  
きました！



## 「だんまりうさぎとおしゃべりうさぎ」

あわ 直子 / 作 ひがし ちから / 絵 偕成社

うさぎが  
でてくる本



マクレガーさんの畑  
にしるびこんだピー  
ターラビットは、に  
んじんを食べている  
ところを見つけて  
しまい…。

## 「ピーターラビットのおはなし」

ビアトリクス・ポター / さく・え  
石井 桃子 / やく 福音館書店

## 「うさぎとおんどりときつね」

レーベデフ / 文・絵  
うちだ りさこ / 訳 岩波書店

こおりの家にすんで  
いたきつね。春にこお  
りがとけてしまうと、  
うさぎの家に入って  
うさぎをおいだして  
しまいました。



# 特集 47都道府県くらべてみよう!

みなさんは、47都道府県ぜんぶ言えますか?いろいろなものを都道府県ごとにくらべてみると、それぞれにちがいがあります。図書館の本で調べると、おもしろい発見がありますよ!

○「調べる学習子ども年鑑 2022」

朝日小学生新聞/監修 朝日学生新聞社/監修 岩崎書店

○「47都道府県!!妖怪めぐり日本一周 1~3」

伊藤 まさあき/絵 妖怪探検隊/編著 汐文社

○「方言ずかん」 篠崎 晃一/監修 本作り Sola/編 山田 タクヒロ/絵 ほるぷ出版

○「にっぽんのおにぎり」・「にっぽんのおやつ」 白央 篤司/著 理論社

○「マンホール大百科 東日本編」・「マンホール大百科 西日本編」

鈴木出版マンホール研究会/編 鈴木出版

# お知らせ 図書館がお休みにあります

★年末年始や特別整理で図書館がお休みになります。

このお休みのあいだは、貸出期間がふだんより長くなっています。

ねんまつねんし  
年末年始

○全館 12月29日(木) ~ 1月4日(水)



とくべつせいり  
特別整理

○加須図書館・北川辺図書館 2月16日(木) ~ 2月22日(水)

○騎西図書館・童謡のふる里おおとね図書館 3月2日(木) ~ 3月8日(水)

## 図書館カレンダー

12月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	▲	△	7	8	9	10
11	▲	△	13	14	15	16
17	▲	△	19	20	21	22
23	▲	△	25	26	27	28
29	▲	△	31			

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	▲	△	24	25	26	27
28	▲	△	31			

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	▲	△	7	8	9	10
11	▲	△	13	14	15	16
17	▲	△	19	20	21	22
23	▲	△	25	26	27	28

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	▲	△	7	8	9	10
11	▲	△	13	14	15	16
17	▲	△	19	20	21	22
23	▲	△	25	26	27	28
29	▲	△	31			

※ ←→ かぞ・きたかわべとしよかん やすみ

※ ←→ きさい・おおとねとしよかん やすみ

×：全館休館

△：加須図書館休館

▲：騎西・北川辺・おおとね図書館休館

『ピーザスといたずらラモーナ』 ベバリー・クリアー／作 まつおか きょう やく 松岡 享子／訳



ルイス・ダーリング／絵 Gakken

9歳さいのピーザスのなやみは、4歳さいの妹のラモーナでした。家の中で三輪車りんにのってみたり、図書館かんでかりて気に入った絵本にクレヨンで書いてしまったり…。ラモーナは、ピーザスがびっくりすることばかりするのです。

やんちゃな妹と、それでも妹が大好きなお姉ちゃんものがたりのゆかいな物語です。

『ピクルスとふたごのいもうと』 こかぜ 小風 さち／文 なつめ 夏目 ちさ／絵 ふくいんかん 福音館書店



こふたのピクルスの家では、春に赤ちゃんがうまれます。ある日、お父さんがやねうら部屋から、赤ちゃんがつかう道具どうぐをはこび出しました。ピクルスがつかっていたものです。お母さんは、赤ちゃんがつかう毛布ふをあんていしました。ピクルスは、「お母さんが自分のことをわすれてしまうかも…」と思い、ちょっぴりさみしくなりました。そして、春に生まれてきたのは、ふたごの妹でした！

『やかまし村の子どもたち』 アストリッド・リンドグレン／作 い としし 石井 登志子／訳



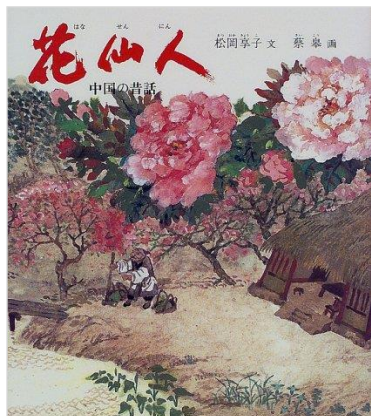
イングリッド・ヴァン・ニイマン／絵 いわなみ 岩波書店

もうすぐ8歳さいになるリーサは、やかまし村にすんでいます。リーサにはお兄ちゃんにいちゃんが2人いて、同じ村には、ひとりっ子の男の子と、2人姉妹の女の子もいます。子どもはあわせて6人で、学校へ行くのも帰るのもいっしょです。お兄ちゃんたちといっしょだいっしょと思うようにならないこともあるけれど、みんなとすごす毎日まいごとは、楽しいことがいっぱいです。



# おはなしのたび ～中国のおかしな話～

## 『花仙人』

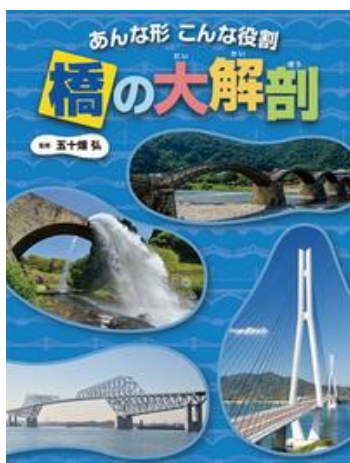


松岡 享子/文 蔡 皋/画 福音館書店

今から千年ほどむかし、長楽村という村に秋先というひとりの老人がすんでいました。秋先は、わかいときから花が大すきで、花をそだてるのがとても上手でした。秋先の庭には、みごとな花がたくさんさいていました。その庭を気に入ったのが、らんぼう者の張委という男でした。張委は、秋先の庭を自分のものにしたいくなり、秋先を追い出そうとします。

# 読んでみよう！ ～ちしきの本～

## 『橋の大解剖』



五十畑 弘/監修 岩崎書店

ふだん、わたしたちが、なにげなくわたっている橋ですが、よく見ると、長い橋、大きな橋、めずらしい形の橋などがたくさんあります。でも、橋にかかる力のしくみや橋の材料などについて、考えてみたことはありますか？

この本では、日本や世界の有名な橋もしょうかいされています。いろいろな橋をながめると、橋を見に出かけたくなるかもしれませんよ。

## 《図書館の電話番号・住所》

加須図書館 電話：0480-61-8200 住所：中央2-4-17

騎西図書館 電話：0480-73-3178 住所：根古屋633-10

北川辺図書館 電話：0280-62-4400 住所：麦倉1473-1

童謡のふる里おとね図書館

電話：0480-78-2211 住所：琴寄597-1

《図書館のホームページアドレス》 <https://www.library.kazo.saitama.jp/>

